

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	009 未来共創プロジェクトの実施							
予算科目	-	-					担当部課	政策イノベーション部科学技術振興課
市長公約							係名	イノベーション推進係
戦略プラン	IV-1	1	1	未来共創プロジェクトの実施			新規・継続	継続
							事業分類	自治事務（任意）
							事業体制	職員のみ
個別計画							事業期間	毎年度
根拠法令等							SDGs	09産業と技術革新の基盤をつくろう

事業の概要

対象	全国の企業、研究機関、教育機関等
目的	官民協働による近未来技術等の社会実装の推進を図る。
概要 (取組内容)	市内において新しい未来を創るための先端技術や近未来技術等を取り入れようとする者に対し、実証実験の提案を受け付ける窓口を開設し、実証実験の支援等を行う。

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	2,198	2,844	5,577	5,577	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.30	0.40	0.80	0.80
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	64.10	45.13	45.13	45.13
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	事業に関する情報を発信
企画・立案、計画	—
実行	実証実験の関係者やモニターとしての協力
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	申請件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0
	実績	6.0	4.0	4.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	(IV-1-①新たな共創の仕組みづくり) 未来共創プロジェクト事業への申請件数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	事業全般的な運用方法の見直しや要項改正、対応方針決定時の参考基準の設定を行った。	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・事業全般で「目的の明確化」「対応方針参考基準の設定」「相談窓口の機能追加」を、運営方法の見直しで「提案書様式の変更」「庁内用手順書の作成」を、それらに伴い要項改正を行った。 ・申請4件中4件を採択し、実証実験を実施。今後、各実験成果を市の課題解決に繋げていく。 ・実証実験の成果の公表と事業全体のPRのため、市HPに各実験の概要や検証結果、市の支援内容等を掲載した。 	
課題	業務	<ul style="list-style-type: none"> ・市の対応方針検討に比較的長い時間を要すること。 ・実証実験の成果を本市の課題解決に繋げること。 ・明らかな営業目的や単なるモニター集め等の提案への対応
	組織、予算等	関係（担当）部署へのつなぎ方や、採択後の担当部署への関わり方
改善目標	関係（担当）部署へのつなぎ方や、採択後の担当部署への関わり方など、運営体制の在り方を見直して進める。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	092 国際戦略総合特区推進事業					
予算科目	01-020108-16 科学技術振興に要する経費			担当部課	政策イノベーション部科学技術振興課	
市長公約				係名	イノベーション推進係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	総合特別区域計画			事業期間	期間限定複数年度	
根拠法令等				SDGs	09産業と技術革新の基盤をつくろう	

事業の概要

対象	市内の研究機関、企業等					
目的	特区プロジェクト等の推進や新たなプロジェクトを創出、推進するため					
概要 (取組内容)	組織の垣根を超えた新しい産学官連携の核となる組織（一社）つくばグローバル・イノベーション推進機構（TGI）と連携し、特区プロジェクト等を創出・推進することにより、新事業・新産業の創出に取り組む。					

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	9,697	9,603	9,534	9,534	
	決算額	(千円)	10,025	8,582	8,953	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	10,025	8,582	8,953	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	7,315	7,325	7,054	2,270	2,270	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.00	1.00	1.00	0.30	0.30
		正職員時間外勤務	(時間)	215.97	213.67	90.25	90.25	90.25
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	事業に関する情報を発信
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

指標名	連携企業数 (件)					活動結果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1 目標値	486.0	641.0	0.0	0.0	0.0	0.0
実績	616.0	685.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	科学技術の集積を活用したライフイノベーション及びグリーンイノベーションの推進による産業化促進のための連携企業数（累計）※H29年度～R2年度第2期計画の指標、※H28年度までは新たなプロジェクト創出数					

2	指標名	連携企業数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	180.0	360.0	540.0	720.0
	実績	0.0	0.0	194.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	科学技術の集積を活用したライフイノベーション及びグリーンイノベーションの推進による産業化促進のための連携企業数(累計) ※R3年度～R7年度第3期計画指標、第2期の指標を継続設定) ★6月判明					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	つくば特区の概要や成果報告として、市民向けの動画を作成し、情報発信を行った。	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・1月に内閣府による特区現地調査が行われ、特区プロジェクトの進捗に対して平均的な評価を得た。 ・市民の認知度を高めるためつくば特区に関する紹介動画を作成し情報発信を行った。 ・TGIの技術相談窓口にて50件の相談対応を行い、10件の企業と研究機関等々のマッチングを実現した。 ・今年度から第3期の認定期間が開始され1年を通じて定着してきた。 	
課題	業務	<ul style="list-style-type: none"> ・特区制度及びプロジェクトは、専門性が高いため市民が理解しやすいように周知することが難しい。 ・大学、研究機関、民間がプロジェクトを主導しているため、常時進捗状況を把握しておくことが難しい。
	組織、予算等	
改善目標	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、市民が身近に感じられるよう、来年度は特区ホームページ及びパンフレットのリニューアルを行うとともに、周知方法を工夫しながら、情報発信を行う。 ・特区プロジェクトの進捗管理について、茨城県、TGIと連携して定期的に把握する。 	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	093 Society 5.0社会実装トライアル支援事業					
予算科目	01-020108-16 科学技術振興に要する経費			担当部課	政策イノベーション部科学技術振興課	
市長公約	116			係名	イノベーション推進係	
戦略プラン	IV-1	2	1	社会実装トライアルの支援		新規・継続
						継続
						事業分類 自治事務（任意）
個別計画	第5期科学技術基本計画、科学技術振興指針(第2期)			事業体制	職員のみ	
根拠法令等				SDGs	08働きがいも経済成長も	
					09産業と技術革新の基盤をつくろう	
					11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	全国の企業、研究機関、教育機関等
目的	新たなビジネスモデルの開拓を加速させるとともに市民生活の向上及び地域経済の活性化さらには先進的な取組に挑戦するまちとしてのプレゼンス確立に貢献する。
概要 (取組内容)	IoTやAIなどの革新的な技術を活用した製品、サービス等の社会実装に向けたトライアル（実証実験）を全国から公募し、実験場の提供やモニターの確保、費用補助等の支援を行う。

コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	5,823	7,610	6,456	6,456	
	決算額	(千円)	4,145	4,002	5,351	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	2,526	0	2,550	-3,228	-3,228
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	1,801	3,228	3,228
		その他	(千円)	1,619	4,002	1,000	0	0
人件費	人件費計	(千円)	5,121	5,128	4,960	4,960	4,960	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70
		正職員時間外勤務	(時間)	151.18	149.57	72.20	72.20	72.20
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	事業に関する情報を発信
企画・立案、計画	—
実行	実証実験の関係者やモニターとしての協力
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	フィールド実験の実施件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
	実績	4.0	5.0	6.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	(IV-1-②社会実装の推進によるイノベーション創出) 「Society 5.0 (超スマート社会)」の実現を目指すフィールド実験の実施件数 ※R1年度は採択5件のうち1件辞退						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> 市の課題解決を重視するため、テーマに加え、具体的な市の7つの課題を設定し、公募を行った。 社会実装を推進するため、採択事業者への専門家の助言機会の提供を、実験の計画段階及び終了後に行った。 	
成果	<ul style="list-style-type: none"> 提案17件のうち6件の実証実験を採択及び支援した。 各実験成果を市の課題解決に繋げていくために、今年度から各関係部署と連携体制を構築し、実証実験の支援を行った。 	
課題	業務	支援事業の成果を社会実装に繋げること、また、成果を市の課題解決や市民生活の向上に結びつけていくこと
	組織、予算等	交付金終了後（令和6年度以降）の予算の確保
改善目標	<ul style="list-style-type: none"> 実証実験の成果を市の課題解決に繋げるため、庁内関係部署との連携を強化する。 過年度案件の支援後の効果や課題、進捗状況等を把握し、今後の事業設計に活かすため、フォローアップ調査を行う。 	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	094 市内大学・研究機関等との連携事業					
予算科目	01-020108-18 科学の街つくば推進に要する経費			担当部課	政策イノベーション部科学技術振興課	
市長公約				係名	科学の街推進係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	つくば市科学技術振興指針（第2期）			事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	08働きがいも経済成長も	
					09産業と技術革新の基盤をつくろう	
					11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市内大学・研究機関・企業・研究交流事業や科学技術啓発事業等を行う団体
目的	連絡体制を構築し、市内の防災体制の強化等を図る。また、第3期となる「つくば市科学技術・イノベーション振興指針」の策定を行い、市民のために科学技術をいかすまちの実現を目指す。
概要 (取組内容)	市内各大学・研究機関のそれぞれの特徴をいかしながら、基本協定の締結や連携事業を推進する。有識者と市民からなる「つくば市科学技術・イノベーション振興指針策定懇話会」を設置し、今後5年間の取組の方向性を示す指針を策定する。

コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	1,583	5,965	4,218	4,218	
	決算額	(千円)	1,447	836	5,637	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,447	836	3,342	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	2,295	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	7,604	7,620	7,367	6,915	81	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.00	1.00	1.00	1.00	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	333.55	333.55	219.00	33.00	33.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	有	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページやSNSでの情報発信
企画・立案、計画	つくば市科学技術・イノベーション振興指針策定懇話会への市民委員の参画、市民アンケート及びパブリックコメントの実施
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	新規協定締結数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	実績	0.0	3.0	1.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	連携事業数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	17.0	18.0	19.0	20.0	21.0	22.0
	実績	31.0	28.0	33.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	新たに建築研究所と基本協定を締結した。また、各機関の定期的なコミュニケーションを通じて、連携事業の実施に至った。	
成果	<ul style="list-style-type: none"> つくば市科学技術・イノベーション振興指針（第3期）を策定した。 建築研究所と基本協定を10月に締結。連携事業として「ドローンを活用した被災状況把握技術開発に関する実証実験」に協力した。 さらに、筑波大学の連携事業として「災害時を想定した水素燃料バスを活用した実証実験」に協力した。 	
課題	業務	協定締結機関を中心として、市内の科学技術に関する最新情報だけでなく、市民の目線に合わせ、より身近な情報（衣食住や医療、活躍する研究者等）の発信が必要である。
	組織、予算等	
改善目標	より市民目線の積極的な情報発信に努める。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	095 次代を担う人材育成と科学技術の理解の醸成事業（科学教育推進事業）					
予算科目	01-020108-18 科学の街つくば推進に要する経費			担当部課	政策イノベーション部科学技術振興課	
市長公約	31-1			係名	科学の街推進係	
戦略プラン	Ⅲ-2	1	3	科学教育の推進と批判的思考の育成	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	職員のみ
個別計画	つくば市科学技術振興指針（第2期）				事業期間	毎年度
根拠法令等					SDGs	08働きがいも経済成長も
						09産業と技術革新の基盤をつくろう
						11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	児童・生徒、市内大学・研究機関・企業・研究交流事業や科学技術啓発事業等を行う団体
目的	次代を担う人材育成や一般市民への科学技術の理解の醸成を図る。
概要 (取組内容)	つくば科学教育マイスター制度や体験型科学教育事業等を通じて科学教育を推進する。 つくばサイエンス・アカデミーと連携し、飛躍的な研究成果が期待できる若手研究者につくば奨励賞を授与する。 科学の甲子園全国大会等の科学イベントを市内で開催する。

コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	12,559	10,589	4,256	4,256	
	決算額	(千円)	17,925	10,310	9,094	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	11,932	6,162	5,571	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	5,993	4,148	3,523	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	7,618	7,633	6,958	7,193	7,193	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	339.15	339.15	51.00	147.50	147.50
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	有	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページやSNSでの情報発信
企画・立案、計画	—
実行	体験型科学教育イベント
評価、検証	体験型科学教育イベント参加者アンケート

指標の推移

指標名	体験型科学教育事業の延べ参加者数 (人)					成果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1 目標値	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0
実績	495.0	57.0	246.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	つくば市SDGs 未来都市計画：Ⅲ 未来をつくる人が育つまち 指標：つくばSTEAM コンパス事業の延べ参加者数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	新型コロナウイルス感染症の影響により、対面でのイベントが困難となる状況が発生するため、オンラインでのイベントも開催できるよう準備をした。また、新たにオンラインツールを活用し、協力研究者と意見交換・情報共有する仕組みを構築し、連携関係を強化した。	
成果	市内研究機関のイベント情報や動画発信、研究者への質問受付など、オンラインによる体験型科学教育イベントを行った。イベント参加を通じて研究者がアドバイスした研究内容が、民間の表彰案件で受賞するなど、外部からの評価にも繋がった。	
課題	業務	学校での体験型科学教育プログラムについて、新型コロナの影響から実施件数を伸ばすことができず、小規模での実施に留まっており、様々な学校規模に応じた実施方法の検討が不十分である。
	組織、予算等	今年度で地方創生交付金が終了。
改善目標	体験型科学教育プログラムについて、複数の学校で実施してもらえるよう、マニュアルの作成やファシリテーターの育成などを推進する。また、外部からの資金獲得策を検討する。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	096 国際科学技術都市「つくば」の推進事業					
予算科目	01-020108-18 科学の街つくば推進に要する経費			担当部課	政策イノベーション部科学技術振興課	
市長公約				係名	科学の街推進係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	つくば市科学技術振興指針（第2期）			事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	08働きがいも経済成長も	
					09産業と技術革新の基盤をつくろう	
					11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市内に在住・在勤・在学する者
目的	社会的課題の解決や産業の国際競争力の強化のため、女性研究者育成や海外都市との連携を図る。
概要 (取組内容)	G7のレガシー継承事業として、科学技術分野への女性の参画拡大や女性人材育成のための事業を実施。ハイレベルフォーラム等の国際会議への参加などを通じてつくばの国際的な認知度向上を図るとともに、国外の都市や研究者との連携・交流を深める。

コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	3,160	4,520	5,418	5,418	
	決算額	(千円)	4,930	1,270	2,431	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	4,930	1,270	2,431	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	7,437	7,453	7,255	3,715	3,715	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.00	1.00	1.00	0.50	0.50
		正職員時間外勤務	(時間)	265.55	265.55	173.00	122.30	122.30
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	有	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページやSNSでの情報発信
企画・立案、計画	—
実行	女子中高生を対象とした理工系シンポジウム、筑波会議
評価、検証	女子中高生を対象とした理工系シンポジウム参加者アンケート

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	筑波会議に市民も登壇したり、科学者とアーティストの共創によるアート作品の展示など、市民への情報発信に注力できた。	
成果	・ハイレベルフォーラムに参加し、市のスマートシティの取組を発表、また「イノベーション・エコシステム：強靱な社会を支える産業再創出のキープレーヤー」をテーマに議論を実施。・「つくばで輝く研究者」として研究者10人のロールモデルを発信。また、つくば女性研究者支援協議会を中心に女性研究者の研究環境向上の取組を意見交換。さらに第3期指針の重要施策の1つとして位置付けた。	
課題	業務	女性研究者育成の取組や国際会議への参加について、一過性のイベントで終わっている。
	組織、予算等	女子中高生を対象とした理工系シンポジウムについて、より多くの機関に参加いただき多様なロールモデルを発信することが必要。現在つくば市が取りまとめを行っているハイレベル・フォーラムのつくば地域代表機関を、つくば発のイノベーション創出ハブ機関であるTGI等にするなど体制の強化を図る。
改善目標	人材育成をテーマの一つとして、女性研究者育成や国際会議事業に取り組む。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	097 ロボットの街つくば推進事業					
予算科目	01-020108-19	ロボットの街つくば推進に要する経費			担当部課	政策イノベーション部科学技術振興課
市長公約					係名	次世代モビリティ推進係
戦略プラン					新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	職員のみ
個別計画	つくば市科学技術振興指針（第2期）				事業期間	毎年度
根拠法令等	「ロボットの街つくば」の実現に向けて（提言）、新たなつくばのランドデザイン				SDGs	09産業と技術革新の基盤をつくろう

事業の概要

対象	市民、教育・研究機関、企業等
目的	ロボットの実用化や人材育成、先進技術・データを活用したまちづくりを行い、超高齢化社会及び低炭素社会への対応、観光等の地域活性化に貢献する。
概要 (取組内容)	搭乗型移動支援ロボットに関する実証実験やつくばチャレンジ等のロボット実験を通じて、国に規制緩和を要望していくなど、ロボットの実利用環境の構築及び社会実装を推進する。 国のMaaS(Mobility as a Service)の取組との連携や他自治体、大学、民間事業者等との新たな連携など、次世代モビリティの社会実装に係る取組を推進する。

コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	6,954	5,594	5,028	5,028	
	決算額	(千円)	7,980	5,139	4,805	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	7,980	0	4,805	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	5,139	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	10,914	10,657	7,054	7,054	7,054	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.50	1.50	1.00	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	300.00	186.00	90.25	90.25	90.25
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	有	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページやSNSでの情報発信、イベント見学、試乗会の実施
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	ロボットのまち中実証実験数（種類）					（件）	活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	
	目標値	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	
	実績	10.0	3.0	2.0	0.0	0.0	0.0	
指標の概要	ロボットのまち中実証実験数（種類）※H26年度までの指標は、実験回数、実験走行距離（目標値：150回、5,000km / 実績値：153回、3,653km）							

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響で、公道実証実験の機会が減少したことから、外部への情報発信は限られたが、警察庁の有識者検討会への参加により国に対する発信が実施できた。 モビリティロボット事業について、協議会の在り方及び今後の方向性を各会員と協議、共有した。 	
成果	<ul style="list-style-type: none"> 警察庁「多様な交通主体の交通ルール等の在り方に関する有識者検討会」へ市長が自治体代表の委員として参加し、12月に最終報告書がまとめられた。この結果をもとに道路交通法の改正が予定されている。 つくばチャレンジについて、新型コロナウイルスコロナ対策を十分に計画・実行し、現地開催（実験走行6日間、本走行2日間）を実現した。 	
課題	業務	つくばチャレンジにおける、令和2年9月に「自動運転の公道実証実験に係る道路使用許可基準（警察庁）」制定による近年自動運転車両・ロボットに関する制度整備への対応
	組織、予算等	つくばモビリティロボット実証実験推進協議会について、スーパーシティ型国家戦略特別区域の区域指定を踏まえた在り方の見直し
改善目標	モビリティロボット事業について、スーパーシティ型国家戦略特別区域の区域指定を踏まえた取組へと発展的に見直しを進める。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	045 市場・市民ニーズ調査事業（旧：未来技術等社会実装支援事業（仮称））					
予算科目	01-020108-16 科学技術振興に要する経費			担当部課	政策イノベーション部科学技術振興課	
市長公約				係名	イノベーション推進係	
戦略プラン	IV-1	2	2	近未来技術等の社会実装の推進	新規・継続	新規
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	職員のみ
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	09産業と技術革新の基盤をつくろう	

事業の概要

対象	市民、教育・研究機関、企業等
目的	実証実験後のアフターフォローとして、実用化の直前あるいは実用化初期段階の支援を通じて、地域課題の解決や未来技術の質の改善を図り、市民生活の向上や地域経済の活性化を目指すこと
概要 (取組内容)	市域で実証した未来技術について、市民や市内事業者へ技術やサービスをホームユーステストとして試してもらい、市場性や改善すべき点などの調査を実施する。なお、調査方法としては、開発事業者がその技術やサービスの提供を行い、そのために必要な事前の改良費用やモニター利用料などを市が負担する形で、開発事業者と市が共同で行うことを想定している。

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	2,000	2,000	2,000	
	決算額	(千円)	0	0	1,650	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	825	-1,000	-1,000
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	825	1,000	1,000
	その他	(千円)	0	0	0	0	0	
人件費	人件費計	(千円)	0	0	3,113	3,113	3,113	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.00	0.40	0.40	0.40
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	155.58	155.58	155.58
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	事業に関する情報を発信
企画・立案、計画	—
実行	先端的なサービスや製品の試用
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	製品等の試用例数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	2.0	2.0	2.0	0.0
	実績	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	(IV-1-②社会実装の推進によるイノベーション創出) 本事業で支援した製品・サービスの件数						

2	指標名	(0)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	※今年度開始事業	
成果	<p>・過去3年間Society5.0事業をフィールドに実証実験を行ったインターネット投票システムについて、市民意見収集システムへの応用性調査を行い、非改ざん性及び高い秘匿性の技術的な担保を確認できた。本システムを「つくば市科学技術・イノベーション振興指針」での市民意見アンケートに活用。結果、即日集計（クロス集計含）され、市内在住在勤者から505件の回答があった。</p>	
課題	業務	市民や市内事業所に対象を拡大するための制度整備
	組織、予算等	本事業終了後の本格導入
改善目標	制度整備し、来年度から市民や市内事業所に対象を拡大して始動する。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	